

かけはし

題字 山内美優さん

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして



議案第65号 西予市立西予市民病院、野村病院及び西予市野村介護老人保健施設つくし苑の指定管理者の指定について

原案否決

6月27日の本会議において、特別委員会審査報告、反対3名、賛成6名、計9名による討論が行われた。
採決の結果、賛成8名、反対9名の賛成少数により、原案否決となった。
なお、討論内容は発言より抜粋して引用した。

反対討論 まつもとみき議員

市が指定管理制度導入の理由としている財政課題・医療従事者の確保について解決になっていない。

また、指定管理となるなら退職する意思を示している職員が多くおり、大量の退職者によって病院機能の維持ができない可能性をほらむ。

指定管理におまかせしてしまうのではなく、市長をリーダーとし議会がチェックする、住民自治による本当の医療福祉改革を心から希望する。

賛成討論 中村一雅議員

選定に当たり、有識者や市民の代表等で

賛成討論 酒井宇之吉議員

合併時からの問題であり、決めることなくそのままになっている。超高齢化社会になり、人口減少が進み、医療体制が質的に変わった。

現場の先生が特別委員会に出席され、西予市民病院菊池院長から意見書が提出された。この重い現実をとらえなければならぬ。

賛成討論 宇都宮久見子議員

明確な信念を持ち、限られた資源の中で地域の医療関係との連携を十分に図り、住民にとって包括的で質の高い安全な医療、住民中心の医療サービス向上に努めている協会をパートナーとし、抜本的な改革を行うことは、現在の市を取り巻く環境の中で、早急に行わなければならない。

反対討論 竹崎幸仁議員

市町村の数は1718であり、公立病院の数は566だ。県内で10ある。その内、指定管理者制度を導入している病院数は、全国1718の内の64であり、わずか3.7%という現状だ。

数十年先の過疎化の進んでいる市の姿を見据え、市町村の96.3%の公立病院が、

構成する指定管理者選定委員会において慎重な審議を重ねていただいた。

協会は、全国のへき地で多くの医療福祉施設を運営され、しっかりした経営基盤を築かれている。利益重視の民間企業とは、成り立ちが違う。

令和7年4月1日から、三瓶の消防署は八幡浜施設事務組合を脱退し、西予消防本部へ管理が移行するが、それまでに二次救急を市民病院へ集約することを望む。

賛成討論 二宮一朗議員

この協会は、令和3年度に総務省が創設した公立病院医療体制確保支援事業の専門的支援を共同で立ち上げた事業者であり、総務省が選ばれた唯一無二の事業者だ。西予市は、この事業に選定されたことを議員は自覚するべきだ。

野村、城川地域の皆様が安心できる医療体制の構築と、二次救急一本化後の移動手段を1日でも早く示すことが、何よりも重要だ。その経過の中で、市民、議会が納得出来なければ、その時こそ議会としてのガバナンスを発揮するべきだ。

自力で何とかしようとする姿勢に学び、再度原点に立ち、冷静に判断していただきたい。

賛成討論 信宮徹也議員

時間的余裕は全くない。

今後も、3施設を存続させ、365日市内二次救急の受入れ体制を維持するためには、全国的にへき地医療の存続に力を注がれ、実績のある協会の力を頼らざるを得ない。

指定管理者の指定はゴールではなく、スタートだ。協会と細部の協議を始め、体制を整え、職員の待遇処遇を職員に1日でも早く提示することが大事だ。

賛成討論 山下昌和議員

一市民のときは、制度導入は時期尚早と判断し反対だった。議員となり、数多くの資料に目を通し、現状が理解でき、賛成する。

市が申請した総務省の事業は、持続可能な地域医療提供体制を確立するための重要な支援事業である。

協会は、既に自治体から数多くの指定管理を受け運営されており、十分な実績がある。

野村病院無床化に関して、診療機能は維

今後、医療従事者の待遇や雇用条件を交渉すること、協会と行政が仕様書をもとに令和7年4月を目指して、一つ一つ具現化をする交渉をしていく過程において、議会としてのチェック機能と調査機能を発揮するべきではないか。

反対討論 大森揚子議員

住民が公設民営化に納得していない。

野村病院無床化は、市長の基本理念である暮らして安心が体感できるまちづくり逆行している。

地域医療存続、市のために必死で頑張っている医療従事者の声に真摯に向き合い、打開策をともに考え合ふべきだ。

市の仕様書、協会の事業計画書によると、市の財政負担が今以上に一層膨らむ可能性がある。

持され、土居診療所の診療体制、及び巡回診療の継続は約束されている。また、病棟部分の活用方法として、看護小規模多機能施設、訪問看護ステーションの設置が検討されている。

具体的な契約交渉はこれから。慎重かつ納得のできる交渉をお願いする。行政側は、今後とも市民への説明責任を十分果たし、医療従事者の就労環境、賃金体系の充実を図ることを切に要望する。

賛否一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
まつもとみき	大森揚子	山下昌和	宇都宮久見子	信宮徹也	宇都宮俊文	加藤美香	中村一雅	河野清一	山本英明	竹崎幸仁	小玉忠重	源正樹	井関陽一	二宮一朗	兵頭学	森川一義	酒井宇之吉
反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成	議長	賛成	反対	賛成	賛成

総務常任委員会

【年間テーマ】「住みたい」「住み続けたい」せいよ
【所管事項】
総務部・政策企画部・会計課・消防本部・教育委員会・監査事務局
他の常任委員会に属しない事項



厚生常任委員会

【年間テーマ】地域医療
【所管事項】
生活福祉部、医療介護部



産業建設 常任委員会

【年間テーマ】漁業振興
【所管事項】
産業部・建設部・農業委員会



議会運営委員会

委員長 二宮 一郎
副委員長 山本 英明
委員 宇都宮 俊文
加藤 美香
中村 一雅
竹崎 幸仁
兵頭 学

地域医療と西予市 立病院等の在り方 調査特別委員会

委員長 源 正樹
副委員長 河野 清一
委員 まつもとみき
大森 揚子
山下 昌和
宇都宮 久見子
信宮 徹也
宇都宮 俊文
加藤 美香
中村 一雅
山本 英明
竹崎 幸仁
小玉 忠重
二宮 一郎
兵頭 学
森川 一義
酒井 宇之吉

定例会日程や本会議の進行手順、議会に関するルールについて話し合う委員会だYO



令和6年 第1回臨時会

西予市のこんなことが決まりました。
会期 5月17日
会議期間 1日間

第1回臨時会の議案は

- 専決処分の承認 3件
- 契約案件 1件
- 令和6年度補正予算 1件
- 公平委員の選任 1件
- 監査委員の選任 2件
- 教育委員の任命 1件
- 特別委員会の設置 1件
- 選挙 6件
- 委員会委員の選任 3件

今回の議会だよりから、タイトルにふりがなを付けることにしました。どんなかたにも読みやすい、議会だよりを目指してまいります。



議長就任あいさつ

西予市議会議長 井関 陽一



日ごろより市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和6年5月17日の臨時会におきまして、議長に就任いたしました。4月28日の市議会議員選挙において選ばれた18名による新しい議会運営となります。行政（市長）と議会の二元代表制の一翼をしっかりと担っていく覚悟を決めたところです。

まずは、一般質問の配信から始め、その後、徐々に情報量を増やしてまいります。安全安心な住みやすいまちづくりを進めていくために「市民の声」が一番大切だと思えます。市民の皆様には議会をより身近に感じていただき、そして、議会の監視役もお願いします。精一杯の努力を致しますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和6年
第2回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 6月10日～6月27日
会議期間 17日間

第2回定例会の議案は

令和6年度補正予算	5件
財産無償貸与	1件
財産取得	2件
条例改正	2件
市道認定	1件
計画変更	1件
請願	1件
指定管理者の指定	1件
予算繰越に係る計算書の報告	5件
専決処分の報告	1件

表決結果は、P8をご覧ください。

こんな質疑が出ました

Q 新型コロナウイルスワクチンが定期接種移行になるが、時期と費用の自己負担はどうなるのか

A 65歳以上の方及び基礎疾患のある60歳から64歳の方が対象となった。定期接種の期間は、10月から12月となる。接種費用については、基金管理団体と市の補助があり、個人負担は3千円となる予定だ。

Q 国庫補助金が、総額約2億7千万円と大幅に減額になった理由は

A 当初配分における内示額が減額となったこと、応募していた事業が不採択となったことが主な理由である。関係機関へ確認したが、他自治体と同程度の減額であった。

討論がありました

議案第63号 西予市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

反対討論 まつもとみき議員

請願第2号 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願

賛成討論 まつもとみき議員
大森 揚子議員

「かけはし」の題字を書いていたいただきました



愛媛県立宇和特別支援学校の中学部3年生、山内美優さん・上田心さん・森本晴大さん・窪田優梨さんの4人が、「かけはし」の題字を書いていただきました！題字を書く前に先生が「かけはしとは、誰かと誰かをつなぐという意味です。明るく、元氣と希望いっぱい書いてください。」とおっしゃられ、身の引き締まる思いでした。

4人のみなさんそれぞれに、力強く豊かな文字を書いていただきました。すてきな作品をありがとうございました！

いただいた作品は全て、次号以降の題字で使用させていただきます。

令和6年度一般会計補正予算（第2号） 1億439万円減額
令和6年度一般会計予算総額 298億493万円

国へ申請していた事業の補助内示※があり、当初予算事業費の削減を行ったことが主な減額理由です。



トイレカーイメージ

詳細はP9の常任委員会報告をご覧ください。

※提出された計画書等を確認の上、補助金を交付することが可能な範囲をあらかじめ通知すること。

A 俳優の「斎藤工」氏が企画し、地方において映画館が減少する中、劇場体験の少ない子どもたちや地域に同じ空間で感動を共有する大切さを伝えるために、映画とライブという体験を鳥のように届けるプロジェクトである。

Q 令和6年9月に乙亥会館をメイン会場として開催するシネマパードの内容は

不採択

請願第2号
「核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願」

分断が広がっている世界情勢の中で、アメリカ力を含めた核兵器保有国が一つも入っていない状況であり、保有国をここに入れる努力が先ではないかなどの理由から、趣旨採択・賛成少数により不採択と決した。



田舎体験メニューがたっぷりの遊子川ゲストハウスコッコロん！（城川町）

所管事務調査
地域づくり活動センターとコッコロんを視察

大和田地域づくり活動センターと、遊子川に新しくできたゲストハウス「コッコロん」を視察し、その活動や思いを伺いました。

どの地域にも特性があり、そこを思う人がいる素晴らしさを実感したところ。良さだけでなく難しさも共感しながら、各地域の課題を共に考えていきたいです。

6件の議案・1件の請願を審査



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

Q 導入するトイレカーは

A 南海トラフ大地震等大規模災害に備え、軽トラックをベースとした洋室2室タイプのトイレカーを1台購入する。

令和6年度初めて導入するため、今後の実績等も踏まえ、運用方法等の中で将来的に追加導入を進めるかどうか判断をしていく。

Q 災害対応特殊消防ポンプ自動車および救急自動車はどのような機能を備えているのか

A 消防ポンプ自動車は、泡消火システムなどの高度な機能を備え、より複雑多様化する火災事象にも対応できる。

救急自動車は、救急救命処置に必要な高度救命資機材を備え、より質の高い救急業務を実施するとともに、大規模災害に対応するため、緊急消防援助隊として活動できる仕様となっている。

表決結果

西予市議会 令和6年第2回定例会
【会期:令和6年6月10日～6月27日】
(○:賛成 ×:反対 欠:欠席 除:除斥 棄:棄権)
※議長は表決権がありません(可否同数の場合のみ表決権があります)

番号	件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	議決日		
議案第62号	財産の無償貸付について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第63号	西予市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第64号	西予市駐車場条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第65号	西予市立西予市民病院、野村病院及び西予市野村介護老人保健施設つくし苑の指定管理者の指定について	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	原案否決	6月27日
議案第66号	西予市過疎地域持続的発展計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第67号	令和6年度西予市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第68号	令和6年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第69号	令和6年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第70号	令和6年度西予市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第71号	令和6年度西予市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第72号	西予市消防署災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第73号	西予市消防署災害対応特殊救急自動車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
議案第74号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
請願第2号	核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択	6月27日
	閉会中における各常任委員会の所管事務等の調査について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	6月27日
	議員派遣の件について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	6月27日

厚生常任委員会



4件の議案を審査

Q 旧俵津診療所の無償貸付について 契約期間が5年である理由および1年間の見込み患者数は

A 契約期間は市財産規則の規定に基づき、5年間としており、1年間の延べ患者数は令和4年度の実績では474人であった。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種費用は、65歳以上の方および60〜64歳で基礎疾患がある方が助成の対象であるが、基礎疾患の基準とは

A 心臓、腎臓、もしくは呼吸器系の障害がある人など、一定の基準がある。

Q 高校生まで児童手当が支給されると、対象人数がどれくらい増えるのか

A 令和6年10月より高校生世代まで支給期間が延長され、714名増える。

Q 国のたびたびの制度改正により職員の事務量が増えてきているのではないかと。国の補助金に、事務費は入っているのか

A 職員の負担もかなり増えており、事務量がどれだけ増えたのかというところを把握していきたい。システム改修費や消耗品等の経費は国の補助対象となっている。

産業建設常任委員会



4件の議案を審査

Q ※持続的給水モデル実証事業を各戸ではなく、給水組合全体での取組はできないか

A 愛媛県が実証事業を行っている地区内の、さらに2カ所の実証事業を行う計画である。今後の水道施設の更新や耐震化に多大な費用が必要になるため、水循環システムの実証事業を通して費用対効果や地域の地理的条件などを考慮して、分析を行い、今後の対応を検討していきたい。

Q 流域治水実践支援プログラム事業の内容は

A 透水性舗装や雨水貯留施設、浸透側溝、浸透ますなど、河川に大量の水が流れ込むことを遅らせたり、地中に浸透させるといった施設に対するの補助金である。

Q 友好都市交流事業の実績は

A 令和5年度にモンゴル・ドンドゴビ県との交流事業として7月に市長、議長、関係者がモンゴルへ訪問し、3月にはドンドゴビ県知事、関係者が西予市を訪れ交流を深めた。令和6年度はゆるりあんを会場としてモンゴル文化を体験できる1日イベントを計画している。

Q 城川農産物振興施設管理運営事業のトイレ改修の内容は

A 道の駅きなはい屋しろかわの男子トイレ1基と、女子トイレ4基の合計5基を洋式トイレに改修することに合わせてブースも改修する。

所管事務調査

二及診療所と 建設中の三楽園を視察

1978年建築（築46年）。診療科目は内科・小児科。診療日は水曜日と金曜日で、医師1名、看護師2名のほか、准看護師、事務員、事務補助員を合わせて総勢7名で運営されている。

施設の老朽化が懸念されるものの、スタッフの熱意に支えられ地域にはなくてはならない診療所となっている。



二及診療所（三瓶町）

所管事務調査

明浜町 佐藤真珠(株)を視察

真珠加工品や青のり粉をふるさと納税品として出品されている佐藤真珠(株)を視察した。

アコヤ貝の掃除や真珠の核入れ、様々な真珠の加工品を見せていただいた後、高知大学と共同研究している青のりの養殖場を視察した。様々な取り組みが行われている意欲的な事業者の発展が地場産業の振興に繋がるよう期待する。



アコヤ貝の核入れの様子

※持続的給水モデル実証事業とは・・・ 中山間地域をはじめとした過疎集落において、給水施設の老朽化や住民の高齢化により、維持管理に大変苦慮しています。そこで、住宅に水循環システムを設置することで、雨水や井戸水等を水源（種水）として浄化・利用し、生活排水を98%以上再生・循環利用することにより少量の水での生活を可能にし、課題解決につなげるための実証事業。



宇都宮 久見子

Q 市民病院・野村病院・つくし苑は指定管理者制度に移行しなかった場合、3施設の維持はできるのか

A 指定管理制度へ移行する、しないに関わらず現在の当市の医療・介護を取り巻く状況を見れば、現状の医療体制を将来的に維持することはできない。現在の施設運営の場合、医療従事者の確保および二次救急の維持は厳しく、両病院とも共倒れの危険性がある。市内での二次救急の完結ができず近隣市町に受け入れてもらう必要がある。現在の一部適用で運営を続けた場合でも野村病院は無床化せざるを得ない。

Q 指定管理者制度を導入した理由は

A 両病院の協力体制が行えず、二次救急の集約や改革の実現ができなかった。行政だけでは協力体制を構築できず、限界を感じた。改革をおこなわなければ西予市の医療福祉は崩壊するため。

●その他の質問●

・ドクターヘリについて
・大学入学共通テストの南予会場設置について



西予市民病院



信宮 徹也

Q 木造住宅の耐震化は

A 国庫補助金を活用した耐震診断、耐震改修工事の補助事業を推進している。令和6年度は、令和5年度比で、耐震診断補助を10件増の25件、耐震改修工事補助を15件増の20件分の予算を確保している。旧耐震建物を所有している市民へ耐震改修の必要性および危険空家の除却等についても、広報紙、市のホームページ、情報番組等を活用して情報発信に努め、安心安全な住まい・住環境の確保に取り組んでいく。

Q 基幹的水道管路の耐震化率および今後の工事予定は

A 令和4年度末時点で19.8%となっており県内平均より低い水準である。令和6年度4月からの料金改定により、国庫補助金を受けるための事業計画を策定し、財源の確保を行っていく。

また、耐用年数を超過した基幹的管路の中でも、漏水が頻発する区間等の状況を考慮して、更新管路の優先順位を決定し、耐震化を進めていく。



能登半島地震で倒壊した木造住宅



二宮 一朗 (公明党)

Q ホームページとLINEの活用について

A ホームページは、情報発信を行う広報媒体の中心であり、アクセスは年間約200万回となっている。

今後、ソーシャルメディアなどの情報も含め、より見やすいページ作成に努める。市公式LINEの防災機能として、大雨警報などの情報や、避難所、避難情報、道路通行制限などを発信している。今後も市民の皆さまへの重要な防災情報発信ツールとして、防災機能の拡充について調査、研究を行う。

Q 移住定住と関係人口増への取組は

A 移住定住交流センターの実績は、相談件数が令和2年度67件から、令和5年度240件と4倍近くに増加している。また、移住フェアで実績は17回出展し、157件の相談を受けている。

移住マッチングイベントやお試し移住体験助成事業で、住民との交流を図り、観光だけではなく地域に足を運んでいただくような西予市ファンの拡大に努める。



西予市移住コーディネーターの皆さん



酒井 宇之吉

Q 三瓶・明浜の小中学校のライフジャケットの支給は

A ライフジャケットの整備状況は、現在三瓶小学校のみ80個整備しており、平成30年にライオンズクラブより1〜3年生に寄贈されたものである。津波を想定した防災教育に力を入れている。

着用の効果については議論があるが、子どもたちの命に代えられるものではなく、命を守るための可能性を最大限想定した避難訓練や準備が必要と考える。津波避難におけるライフジャケットの有効性について検討を始めていきたい。

Q カメムシの発生被害予想と対策について

A 果汁カメムシ類の越冬数が、愛媛県全体では平年に対して4倍、南予地方では6倍以上という高い数値になっている。

農業被害については、果樹が中心となり、飛来を確認次第、速やかな薬剤防除が推奨されている。日常生活においては、生活空間への侵入を防ぐ対策として、窓サッシの隙間を埋め、忌避剤をスプレーするとか、ライトをLEDに取り替えることも有効である。



ライフジャケット (三瓶小学校)

議会のニューフェイス



お互いに話し合うこと、どうしてもゆずれないことや、妥協できること、そういった対話を通して、まちづくりをしていくことが大切だと実感しています。

そのためには市民お一人お一人の政治参加が必要です。西予市の市政を自分ごとにして、一緒に考えていきたいと思います。



「だれもが安心して暮らせる西予市になるよう頑張ります。ご一緒に頑張っていきたいと思います。」

急激な人口減少が進む中、地場産業を守り育成していくことは急務であると思います。皆さんと共に明るい未来に向かって努力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



まつもと みき

対話によるまちづくりをめざして

だれもが安心して暮らせる西予市に

明るく未来あるふるさとのために

はじめまして、まつもとみきです。

宇和町の米農家の長女として生まれ育ち、現在も実家の田んぼを手伝っています。動物が大好きで、選挙期間中はそれぞれの地域で出会う牛や犬や猫にとっても励まされました。

わたしは、人と話をするのが好きです。もちろん、同じ意見を持つ人と話すことは楽ですが、ちがう意見を持つ人と話すことも好きです。自分にはない考えを聴くことは、とても勉強になります。

お互いに話し合うこと、どうしてもゆずれないことや、妥協できること、そういった対話を通して、まちづくりをしていくことが大切だと実感しています。

そのためには市民お一人お一人の政治参加が必要です。西予市の市政を自分ごとにして、一緒に考えていきたいと思います。

一般質問



まつもと みき (インクルせいよ)

Q 西予市民病院・野村病院・つくし苑の指定管理者の指定について野村病院に病床を残せない理由は、二次救急集約による医療従事者不足とし、現実的に厳しいこととはわかった。西予市は大変広いため、西予市の中心部に立地し、警察・消防・支所・ヘリポートが近くに整備されて素早い連携が期待できる野村病院に、二次救急や病院機能の集約をすすめる考えはないか

A 市民病院ができるときに、議員を含めた有識者の協議の中で集約は市民病院が理想的だろうという経緯があった。野村病院に集約するという議論はなかった。



A 選挙管理委員会において、選挙公報を発行することが決定されれば、次の市長・市議会議員選挙にむけて条例制定を進めていきたい。

愛媛県11市のうち、選挙公報を発行していないのは西予市と大洲市のみである。選挙公報発行のための条例改正をする考えはあるか

一般質問

Q 市長の野村病院の無床化発言は、あまりにも唐突ではないか

A 野村病院に診療機能を残しながら二次救急を集約し、ひいては将来にわたって3施設を維持するためには、野村病院を無床化するしかないと判断した。

また、令和6年第1回定例会において、指定管理者制度の導入が可能になり、市として方針を早く示すことで、市長選挙および市議会選挙において、市民に信を問う必要があると判断した。

また、医療従事者の現状等を考え総合的に判断して、行政報告という形で発表した。

一般質問



大森 揚子 (日本共産党)

Q 公設民営化の問題は、市民の理解が得られていないため拙速に決めてしまわず、一旦立ち止まって話し合いを続けるべきではないか

A 地域医療振興協会が、掲げている理念、そして過去の実績、現在の実績を鑑み、協会がベストパートナーであると考えます。協会との信頼関係を構築したうえで自信をもって進めていきたいと思っています



西予市立野村病院

みなさん、こんにちは！

議員に当選させていただき、早2カ月がたちました。先日は、初の一般質問にも立ち、皆さまの声を精一杯市政に届けました。私は、乙亥の日に生まれました。乙亥が近づくと、子ども心にわくわくしたものです。

子育て中に出会った「親子リズム」。お母さんたちと本音で話し合う経験を積み重ねるなかで、多くのことを学び、たいへん成長させていただきました。また、両親を介護しましたが、地元の病院・施設にはずいぶん助けていただきました。

暮らしのなかでみなさんが抱えている困難を、ぜひお聞かせください。「だれもが安心して暮らせる西予市になるよう頑張ります。ご一緒に頑張っていきたいと思います。」

大森 揚子

山下 昌和

皆さん、こんにちは。私は新人議員三瓶町出身の山下昌和と申します。昭和30年生まれの69歳。新人としては少々高齢ではありますが、現役で還暦軟式野球と、日課であるジョギングにより日々、体力の低下阻止に努めています。

現在は、漁業に関する仕事を30年余り、柑橘栽培にも15年ほど生業として携わっていました。西予市では六次産業化の可能性のある一次産業が数多くあると思っています。市特有の多岐にわたる恵まれた自然環境の中で生産される一次産品は、全国、いや世界に通用する物だとも思っています。

急激な人口減少が進む中、地場産業を守り育成していくことは急務であると思います。皆さんと共に明るい未来に向かって努力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



大・大・大募集！

「西予市あるある」や日常のいろんなこと、育児や介護や生活の中で気づいたこと、感じたことなどを描いた、イラストやマンガを大募集します！

議会だよりに掲載させていただきたいと考えています。

マンガは1コマ～4コマまで、イラストの場合は説明文も添えて（50文字以内）

下記までお送りください♪応募者の年齢は問いません。

お子様からご高齢の方まで応募をお待ちしています！

どんどん応募してくださいね～！！！！

対 象 西予市内在住者、市内に通勤・通学されている方
西予市にゆかりのある方

条 件 未発表、オリジナル作品に限ります。応募作品は返却いたしません。

メール gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp

宛 先 〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1
西予市議会事務局 まで



議会レポート

令和6年5月16日、西予市第6期議会議員18名の任期がスタートしました。

今回の改選により女性議員は前期の倍、初めて女性議員が4名となりました。

多くの女性議員の参画で、西予市をより一層、多様性に富んだ、強く、優しく、しなやかなものにする議論が進むことを期待しています。



編集後記



改選に伴い、新しい編集委員メンバーで議会だより制作に取り組みしました！

議会だよ리를読んでの感想、思ったことがありましたら、どんどんお知らせください！

みなさんからご意見をいただいで、みんなでどんどん良い議会だよりにしていきます！

まつもとみき



◎編集委員

委員長 源 正樹
副委員長 まつもとみき
委員 大森 揚子

山下 昌和
宇都宮 久見子
信宮 徹也
宇都宮 俊文

